



白樺は空に向かって立つ

関東を直撃する台風15号の被害が落ち着かぬまま観測史上最大規模の19号が被害を拡大している最中ではあったが、北海道も深川も風が無く、陽が射すと一枚脱ぎたくなくなるような心地よい日よりの日となった。山道の両脇は秋の気配を醸す彩りがところどころにあつて美し



# 湧雲

第11号  
2020年2月29日発行

発行・北海道深川西高等学校同窓会  
〒074-0012 北海道深川市西町7番31号  
TEL 0164-23-2263 FAX 0164-23-2264

同窓生数  
17,280名

デザイン・印刷・SALAT (株) サラト  
〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172  
Tel:079-284-1380 https://salat.co.jp

## 卒業記念植樹事業



### 第九回記念植樹「ホウノキ」

お天気でも霞み空

2018/10/6

参加者

教頭・太田 徹  
教師・田辺 壘  
1組・富岡 望優 中村 来未  
2組・立花 亮馬 塚田 翔太  
3組・新木 開人 岡本蓮太郎  
4組・東 優花 久保田あかね

委員会

坪田 堀川、岡部、篠原、寺前  
石川、村中、藤井、溝口

快晴で風もなく暖かい最高の日よりの日となった。山道のおちこちで気配を醸す秋色は特にツタウルシが絶妙なグラデーションを作りだして美しい。濃い赤で彩りを添える山ぶどうもあちこちで散見される。静かに近

### 第十回記念植樹「イタヤカエデ」

2019/10/12

参加者

教頭・太田 徹  
教師・玉井 康夫  
1組・後藤 夢奈 小島 陽花  
2組・茂野 幸矢 宮田 大輔  
3組・平田 悠斗 宮崎 遙翔  
4組・水元 湧雅 山田 光継

委員会

堀川副委員長、篠原、石川、村中、溝口  
協力：東 典子

づいてくる冬の気配に少しは動揺しながら無事に冬囲いの作業を終えて生徒の到着とお昼のお弁当を待つ時間何となく長く感じた。

生徒にはバスの中で昼食をと提案したがお天気が良い事もあってバスから降りて石碑の前でしたいとの事シートの上で車座になって楽しくお食事を済ませる。休憩もそこそこに植樹に取り掛かる。用意された穴にホウノキを4人1組で土を寄せる。大きな葉のホウノキが何も無いところに存在感を表していた。校庭から拾ってきたミスナラの種を蒔いて植樹は終了。全員で記念写真を終わらせて沖里河山の頂上に向かう。長年ホテル板倉にお世話になってきたバスもこれが最後と思うと寂しい限りだ。今回は記録のDVDを作成するための取材も入っていて取材用のドローンが上空に留まっていた。バス

い。濃い赤で彩りを添える山ぶどうがあちこちで散見されるがイタヤカエデの黄色はもう少しといったところか。午前中の作業開始頃は雲が低く垂れ込めていたがすかすかに見える平野部は陽が射して明るく。

最初に記念植樹の植え付け場所を決めて穴を掘ったが、確保した苗木が10cm程の厚さしかないことから植樹の際には樹を置いて土を寄せて灌水をするだけで済みそうだ。添え木の位置も上手く決まったし、看板のパイプも打ち込みハンマーを購入したことで安心して作業が出来、効率よく納めることが出来た。

急遽お手伝いをお願いして快く参加してくれた23期の東 典子さんは大きな戦力になりました。殺鼠剤をくまなく散布してくれました。お天気はますます良くなる。残りの作業を終わらせて歓談していると昼食を積んだ「まあぶ」のバスが到着。生徒たちは石碑の前でシートを敷いて食事。太田教頭は昨年に引き続き引率してくれて感謝で一杯ですが学校長が近年参加いただけに少なからず残念でした。少し肌寒くなっ



てきたので時間を繰り上げて12時から植樹に取り掛かる。銘々ヘルメットをかぶって現場に歩みを進める。堀川副委員長から挨拶の後、事務局から作業への説明。生徒はそれぞれ土を寄せて足で根元を踏み固めたあと記念のプレートを取り付けて全員



は沖里河山の展望台へ向かう。頂上から平野部を眺め双眼鏡で学校を確認し追いかけてきた取材用のドロー



で記念撮影を行って終了となる。バスが来るまで双眼鏡で校舎を確認。「確認出来たあ」と歓声上がる。出迎えて到着したバスに乗り込んで沖里河山の頂上を目指す。階段を上って頂上からの眺望を堪能してここでも記念写真を撮って下山となる。



ンに手を振る。心残りではあったが学校に向けて下山をした。

# 開校80周年記念事業

## 開校80周年記念式典及び 事業開催経過

- 開校80周年記念事業実施に向けた準備会
  - 平成28年12月5日
  - 同窓会、PTA、学校あわせて13名で検討
- 開校80周年記念事業協賛会設立準備委員会
  - 第一回 平成29年2月6日
  - 第二回 平成29年6月14日
  - 第三回 平成29年7月20日
- 開校80周年記念事業実行委員会設立総会
  - 平成29年9月20日
  - 実行委員長・渡辺一義
  - 副実行委員長・大西道祥、馬場勇二
  - 他役員選出
- 開校80周年記念事業実行委員会
  - 第一回 平成29年10月20日 出席18名 大枠を確認
  - 第二回 平成29年12月7日 出席23名 記念事業の検討
  - 第三回 平成30年2月15日 出席19名 事業の進行状況報告
  - 第四回 平成30年6月1日 出席29名 記念品、予算、祝賀会報告
  - 第五回 平成30年8月23日 出席28名 予算、事業の進捗報告確認
  - 第六回 平成30年9月13日 出席27名 最終確認
- 開校80周年記念式典
  - 平成30年10月20日(土) 9:30~
- 開校80周年記念祝賀会
  - 平成30年10月20日(土) 14:00~
- 記念事業
  - 1 80周年記念誌発行事業
    - ・千部作成
    - ・配布先
      - (実行委員・現教職員・在校生・式典来賓・賛助金納入者・奉加帳記名者・記念誌寄稿者・植樹参加者・市内施設等)
  - 2 顕彰事業
    - ・開校70周年から79周年までの歴代校長4名、及び歴代PTA会長7名
  - 3 記念品贈呈事業
    - ・クリアホルダー、シャープペンシル
    - ・学校教育活動振興事業
    - ・トロフィー陳列棚
    - ・懸垂幕昇降装置
    - ・記念芸術鑑賞
    - ・80周年記念ミニライブ
  - 4 80周年記念事業関連行事
    - ・80周年記念事業関連行事ミニコンサート
      - (32回生 後藤悠仁) 8/24
      - (57回生 佐藤友美) 8/24
      - ・80周年記念事業OB・OG講演会
        - (54回生 高田由基) 10/9
        - (64回生 岡下亜古) 10/19



(決算報告は左記)

## 本校の未来

前号でもお知らせしたとおり当校への入学生徒数の減少は危機的状況です。現在の在校生は3年生120名、2年生79名、1年生85名で3年と1年が3クラス、2年が2クラスとなっております。

以前は各地区にあった高校も団塊の世代の減少に伴い北竜農業高校(S53)、秩父別高校(H13)、深川農業高校(H19)、妹背牛高校(H2)、沼田高校(H22)と次々と閉校の止むなきに至りました。深川東高校も当校と同じように生徒数が激減し深川市とタッグを組みながら市内二校の存続に努力しています。

2019/4/1現在で小学校と中学校の生徒数は深川市・妹背牛町・沼田町・北竜町・秩父別町あわせて左記の通りです。

旭川、滝川など他地区にも流出するため卒業生徒が全部当校に来る事は考えられませんので	172名	175名	178名	183名	187名	172名	209名
小	12	13	14	15	16	12	13
学	2	3	4	5	6	2	3
小	1	1	1	1	1	1	1
小	1	1	1	1	1	1	1
中	1	1	1	1	1	1	1
中	1	1	1	1	1	1	1

生徒数の減少はどのようにも解決できない問題に思われます。この問題は北空知だけの問題ではなく全国、全道の問題で、どの学校も生徒数が減ってきて学校が維持できない状況にあります。各校とも独自性や学校の長所を提示しながら生徒募集に力を入れていますが将来の高校教育環境がどのように変わっていくのか心配なところです。今後は適正な高校の配置という事で再編されていくものと思われず。

参考までに団塊世代の卒業生徒数は次の通りです。

## 同窓会総会開催報告

- ### 平成30年度事業報告
- 1、会議、行事に関する事項
  - 【平成30年(2018)】
    - 4月9日・平成30年度(第73回)入学式
    - 4月12日・転入教職員歓迎会
    - 5月9日・役員会
    - 5月23日・第75回定時総会
    - 7月31日・役員会
    - 8月30日・同窓会会報第10号発行
    - 10月6日・第9回卒業記念植樹「ホウノキ」
  - 【平成31年(2019年)】
    - 2月28日・同窓会入会式
    - 3月1日・第71回卒業式
    - 3月26日・転出・退職教職員送別会
    - 5月7日・会計監査
    - 8月6日・第1回同窓の集い打合せ
    - 9月7日・最終打ち合わせ券集約等
    - 9月15日・同窓の集い
    - 10月20日・開校80周年記念式典・祝賀会
    - 11月14日・同窓の集い反省会

## 開校5周年史・10周年史の復刻版の発行

学校には昔を語る資料があまり残されていない。発行されたとの話は聞いていたが幻の記念史と思われる開校5周年史【報国団誌創刊号】や10周年史【校友会誌】が目前に現れたときの驚きを今でも忘れることが出来ない。酸化して変色した紙面は時間の経過を表していた。買をめぐるとほろぼろと崩れそうになり積み重なっていた。

新制高校一期生(旧制6期)の中村隆志さんから記念史を提供されてから10余年、陽の当たらぬ書棚の奥深くに納めていたが復刻しなければいけないの思いはどんどん深まってきた。今回、力強い支援を得て永年思い描いていた復刻版が漸く現実のものとなって感慨深いものがある。

もう、昔を確実に語れる先輩も少なくなってきた。年月を経ると人が変わるのだから世の中が変わっていくのは当たり前だが、人類は同じ轍を踏むように出来ていくような気がする。争いの無い世界を望むが、世の中の流れはよからぬ方向に引きかけているかも知れぬ。世界の潮流にはそんな気が漂っている。

5年史にはそんな世界に生きていた諸先輩の動きと学校の有り様を見ることが出来るし、10年史は戦後の物資の乏しい中で発行された記念史となつていて。活版ではなくガリ版刷りの紙面は物資に乏ずる時代背景にも関わらず、開校から10年を経た動きを何としても残そうとして発行した当時の人たちの気概を感じることが出来る。

20年史を復刻した際は100部印刷したが、今回は70部の部数に留めました。その代わり要望があったときにはデジタルデータで提供出来るように配慮いたしました。時代の進化と共に資料の保管も保存も変わります。次世代に現れる新たなデータへの変換を次の時代の人にお願いをしたい。

2018年に開校80周年を終えたが、2038年に1000年を迎える時の100年史の貴重な資料となることに期待をして復刻したこともここに留めたいと思えます。100年の歩みを網羅した内容深い記念誌が編纂されることを夢見て復刻をいたしました。

再版発行日: 2019年7月15日  
再版発行者: 深川西高校 同窓会  
再版発行支援者: 宮脇 敬(4期)  
再版発行責任者: 溝口信義(18期)

高14回	S36期	300名
高15回	S37期	289名
高16回	S38期	275名
高17回	S39期	313名
高18回	S40期	301名
高19回	S41期	317名
高20回	S42期	327名
高21回	S43期	309名
高22回	S44期	285名
高23回	S45期	275名
高24回	S46期	261名

- 同窓の集い
- 11月14日・同窓の集い反省会
- 同日、第4回・同窓親睦ゴルフ大会開催
- 総会において役員改選が行われ23期・巒田光章さんが副会長に選任されました。
- |      |        |
|------|--------|
| 副会長  | 巒田 光章  |
| 会長   | 溝口 信義  |
| 副会長  | 宮川 央子  |
| 副会長  | 坪田 邦光  |
| 副会長  | 巒田 光章  |
| 副会長  | 成田 雅敏  |
| 副会長  | 宮澤 孝司  |
| 副会長  | 宮澤 祥太  |
| 副会長  | 吉田 登美雄 |
| 副会長  | 木根 和美  |
| 副会長  | 田中 昌幸  |
| 幹事長  | 巒田 光章  |
| 副幹事長 | 巒田 光章  |
- 3127192831282323211817  
期期期期期期期期期期

# 母校支援事業

◎ 部活激励画像集

## 開校80周年記念事業 実行委員会決算書



2018年8月28日



2018年7月27日



2018年12月13日



2018年8月28日



2019年4月19日



2019年1月19日



2019年7月12日



2019年5月29日



2019年12月19日



2019年7月20日

### 収入の部

協賛金	11,429,000	賛助金・寄付金・祝賀会費
繰越金	1,600,000	70周年事業から繰越
雑収入	14	利息
合計	13,029,014	

### 支出の部

需用費	102,404	印刷等
役員費	1,468,870	発送料・広告等
雑費	77,404	会議・手数料
式典費	104,868	しおり他
祝賀会費	597,003	
	2,945,502	記念誌
	58,463	功労者表彰
	398,520	記念品贈呈
	244,203	トロフィー陳列棚
記念事業費	1,050,058	懸垂幕昇降装置
	600,864	記念芸術鑑賞
	325,069	NORDミニライブ
	50,000	ミニコンサート
	160,000	OB/OG講演会
剰余金	3,000,000	宮脇基金繰り入れ
	1,845,786	90年準備金として
合計	13,029,014	

## 平成30年度 一般会計決算報告

### 収入の部

項目	金額	備考
前期繰越金	89,094	
入会金	198,000	132名×1,500円
振替金	1,000,000	宮脇基金より
雑収入	242,987	会報協力金等
合計	1,530,081	

### 支出の部

項目	金額	備考
総会費	105,678	
役員会費	22,248	
会議費	106,380	同窓の集い実行委員会
交際費	422,000	全国・全道大会、歓迎迎会
事業費	850,784	会報、吹奏楽等
通信費	5,952	
印刷費	9,384	
広告宣伝費	0	新聞広告
事務費	0	
雑費	3,132	振込料等
次期繰越金	4,523	
合計	1,530,081	

「 校 同 相 監 会 校  
「 内 窓 談 事 計 内 幹  
「 O B 役 事 幹 事 事 )  
「 夕 べ 会 計 ( 校 内 幹 事 )  
「 会 計 幹 事 )

大 玉 及 今 渡 利 平 池 館 畑 広 杉 三  
久 井 瀬 川 村 辺 波 内 下 瀬 山 上  
保 康 直 賢 釐 一 清 通 英 孝 博 直 一 貴  
史 夫 美 一 弘 義 一 明 二 之 善 美 郎 康  
38373154176 旧 旧 362723314732  
期 期 期 期 期 3 1 期 期 期 期 期  
期 期 期 期 期 期 期 期 期 期 期

# 各期動向報告

(カッコ内は情報提供者・敬称略)

**【旧中一期】**  
先輩も九十四歳の年齢になり、連絡が取れない状況です。自然消滅。

**【旧中二期】(旧制深中2期会)**

平成十四年を最後に同期全員の開催を取りやめとし以後二、三年ごと有志で開催していたようですが、さらに高齢になり、開催なし。情報提供者もいない状況です。

**【旧中三期】(旧制深中3期同期会)**

十七年には記念誌「俺の足音」を制作。十九、二十、二十一、二十二も九月札幌にて開催。危ぶまれた二十三、二十四年も十月に開催。二十五年十月開催を最後として区切りをつけた。深川市内の有志は年に一回集まっている。(利波 清一)

**【旧中四期】(旧制深中4期生)**

平成十五年と二十年、故・中島武敏元代議士を囲んで(ふれあい会館)集まったのが最後。今後の予定もなし。(波多野 栄)

**【旧中五期】(旧制深中5期会)**

十五年鎌倉、十六年函館、十七年札幌、十八年美唄、十九年六月深川、十月台湾へ修学旅行。二十年には開校七十周年記念に合わせて式典終了後開催。二十一年以降は津田氏が亡くなったため、札幌・平林さんが後を引継ぎ札幌で集まっているが、集まるのが難しくなってきたため二十七年に記念のエッセイ集を二集出版した。

**△一期▽**

平成六年岩見沢市、七年滝川市、八年幌新温泉一泊、九年箱根・東京二泊、十年深川市、十一年定山深川温泉、十二年滝川、十三年岩見沢、十四年深川、十五年札幌、十六年滝川、十七年札幌開催を最後に取りやめ。以後開催なし。(中村 隆志)

**△二期▽**

(旧制中学7期・深川西高2期の集い)  
毎年秋に開催していました。東京、札幌、深川持ち回り。十二年は卒業五十年で札幌、十三年はホテル館、十四年は東京、十五年は札幌、十六年は深川、二十年「喜寿の集い」をもって期友の会を打ち上げしました。その後、関東、関西、北海道全域から同志が集まり一泊で温泉旅行を開催二十名参加。三十一年の誕生日で八十八歳。(大久保博志)

**△三期▽**

東京は毎年開催していたが・・・札幌も随時開催していたが・・・深川は三名ですが元気なし。平成十二年を最後に開催していない。(大鎌 幸雄)

**△四期▽**(深川西高第4期生同期会)

札幌(北斗会)ではなんと毎月集まって親睦を深め無事を確認し励ましています。十六年札幌は六月、東京・四葉会は一月に開催。十七年は六月札幌、十八年札幌開催。十九年五月定山渓で、卒業五十五年で偶然にも五十五歳が参加。二十年六月札幌。二十二年六月「喜寿を祝う同期会」を開催。同期生全員に案内するのはこれが最終回でしたが二十三年六月二十日開催。二十四年も六月に開催いたしました。以後高齢の為残念ですが集まりはありません。(南 進)

**△五期▽**

不定期開催。最近開催なし。

**△六期▽**(西高29会)

われらも八十四歳となりました。深川支部は二九会なので毎年六月二十九日に開催して毎年旅行を実施したり昼食会を行っていました。札幌勢は年に六回集まり、東京勢は年一回集まっています。全体での開催は十七年札幌が最後。(平田 廣美)

**△七期▽**(深西7期同期会)

三年毎に旭川、深川、札幌と持ち回りで開催している。十四年深川で開催。板倉に六十人参加。十七年は五十年を札幌

にて八月開催、五十人参加。二十年旭川。二十三年九月五日深川で開催。二十六年九月札幌開催。二十七年、二十八年と深川で連続開催。令和元年五月十二日最後の同期会を札幌にて開催三十四名。今後は各地で随時三二同期会を開催していく。(手島 克)

**△八期▽**

不定期開催。二十年六月札幌第一ホテルで開催。高齢となり最後の同期会と言うことで六十五名参加。それ以後は各クラスやグループが少人数で開催。二十一年八月深川在住者。九月には札幌で開催。(清水 義弘)

**△九期▽**

代表世話人・仲野 勝介  
十年深川・十二年旭川・十四年札幌・十六年北竜、十八年東京、毎年開催の意向を受けて十九年秋に定山渓、小樽。十九年三月深川在住者で開催。二十年九月深川開催。「ゆゆう」に四十七名。二十三年九月四日、沼田ほろしん温泉にて全体の同期会を開催しました。二十四年五月八日、東京方面で三二同期会。五月九日市内在住者の三二同期会でパークゴルフの会を開催。秋には東京で全体の同期会を開催。二十五年は七月十日旭川で開催。二十六年十月十五、十六日鬼怒川温泉で三十三名参加開催。二十七年は開催しませんでした。毎年北空知・旭川方面在住者で同期会開催。一昨年、昨年に引き続き今年も九月に予定。(倉嶋 克郎)

**△十期▽**(深川西高第十同期会)

代表世話人・高橋 国雄  
十五年六月に四十五周年記念として北広島で開催。二十三年十月二十日定山渓温泉にて五十八名の参加で旧交を温めました。二十六年十月十八日、十九日札幌にて開催。参加者四十五名。三十年七月三、四日に札幌第一ホテルにて卒業六十年を最終として開催した。(星野 友雄)

**△十一期▽**

十二年八月還暦記念を深川で開催。十六年は八月札幌七十名。十八年十月深川で開催。二十年札幌。二十七年深川で開催。(中井幸太郎)

**△十二期▽**(西高35年卒同期会)

十三年秋、還暦同期会を開催、参加五十八名。十八年小樽にて開催。二十二年六月深川にて開催。(板倉 克宏)

**△十三期▽**(三六会・サボロウ会)

代表・吉川 保  
H十年H P開設 M L(倉山 昭男)  
<http://www2.big.or.jp/~yycub/>  
<http://www.wgroups.co.jp/group/36KAI>  
十四年六月還暦記念同期会を開催、板倉。二十年開催。二十二年六月秩父別温泉「ゆゆう&ゆ」で開催。二十八年七月札幌で開催。三十年六月三十日、秩父別ゆゆう&ゆで開催します。(佐藤 豊秀)

**△十四期▽**

十六年五月還暦同期会を開催。深川ホテル  
二十年二月天人峡パークホテル。二十一年九月十三日深川にて開催。同期生七十六人、恩師三名。二十四年九月十三日札幌支部による発起人で開催。二十七年一月、新年会を札幌で。深川近郊同期会を二十八、二十九、九月に開催。首都圏同期会を二十八、二十九、十月に開催。(堀川 勝之)

**△十五期▽**(深西38会)

代表・菅原 明義  
札幌・吉田 裕 檜山 秀紀  
以前は五年毎に開催していたが間隔が狭まった。十年は十一月、十五年は札幌で開催。十七年十月九日開催。十九年九月旭川開催。二十一年十月定山渓グラントホテルで開催、六十三名が出席。二十六年に古希の祝いで開催。喜寿は三十一、二年なので、開催予定です。札幌38会は偶数月に定例懇親会を恩師田中先生を囲み継続開催中です。(菅原 明義)

**△十六期▽**(深川西高16期卒業同期会)

代表・星野 孟  
五年毎に開催。十一年から三年毎の開催にしました。二十年九月開催。二十三年十月十日板倉にて開催しました。次回は二十六年六月二十二日に卒業五十年で開催。二十九年六月深川にて第十一回同期会を開催。(星野 孟)

**△十七期▽**(高17期同期会)

十二年に板倉、十七年八月板倉で開催。四年に一回開催が約束だが二十七年十月に卒業五十年に当たり前倒し開催。毎年、秩父別で二泊ゴルフで親交を深めている。(濱田 靖夫)

**△十八期▽**(猪子会・いのね会)

代表世話人・宮岸 徹二  
十七年九月札幌にて開催六十名。二十年十月、富士屋にて開催六十名。東京組は随時開催で二十年は九月。札幌組は随時集合。深川組は毎年夏、冬と二回開催している。二十三年十月十六日札幌にて開催。二十六年七月十二日開催。二十九年七月八日深川開催。(深沢 倬子)

**△十九期▽**(深川西高42会)

代表・千葉 憲一  
五年に一回の開催。十七年旭岳のふもと湧別温泉で開催。登山も兼ねた。二十年は「ゆゆう&ゆ」で還暦同期会を十月開催。二十五年九月二十三日北広島にて開催。二十九年五月二十七日北広島にて八十二名の参加で開催。(寺下 良一)

**△二十期▽**(深川西高20期卒業同期会)

代表・児島 俊一  
四年に一回の夏季五輪開催年に合わせて開催しています。十二年六十名参加深川ホテル。十六年は八月に開催した。二十年八月深川で開催。東京組は二年毎に開催二十四年八月四日、深川板倉にて開催、五十九名出席。二十八年八月六日深川開催五十七名。道内在住者の有志で「ふれあい・語り合いゴルフコンペ」を年三回開催しています。今年は八月三日に開催。年末に札幌で直会を開催しています。冬季オリンピック開催年には東京で同期会を開催しています。昨年は十月に箱根一泊で行いました。(小川 広見)

**△二期▽**

十四年八月、十八年八月開催。二十三年八月十三日深川にて開催。四年に一度の開催と決め二十六年九月二十日札幌にて開催。平成三十年九月札幌で開催。令和二年七十歳になるので深川で開催予定。(梶川 寛)

△二期

代表・広上 和好
十二年卒後三十年で開催。参加六十名(日の出)。二十年八月札幌開催。二十七深川で開催。(松原 和男)

△三期

代表世話人・坪田 邦光
十三年八月に三十年を記念して札幌にて開催。出席者八十余名。
二十四年六月三十日板倉にて卒後四十年を記念して開催。三十年十月二十日に開校八十周年で校庭にアオダモを植樹した。(轡田 光章)

△四期

十四年札幌、十六年六月深川(日の出)にて開催三十五名。十七年六月札幌にて連続開催。二十年六月「まあぶ」にて開催。二十五年十月五日、京王プラザホテルにて卒業四十年で開催。八十名出席。現在は二年に一回で開催しては。札幌で三十年十月二十一日に開催六十八名。翌年の令和元年十一月十六日△二期開催四十一名。(大平由美子)

△五期

十四年十一月に札幌にて開催 七十名参加。二十六年十一月選暦同期会を札幌にて開催。参加者八十名。市内在住の同期会は開催していません。(矢野 正樹)

△六期 (49年卒業同期会)

代表・渡辺 純
十六年は卒業三十年で九月札幌にて開催、百名参加。同窓の夕べの実行委員として携わったのを機に同窓の夕べの後に同期の集まりを持つこととしており、二十六年は二十人が集まり交流しました。二十九年六月二十四日開催。同窓会幹事二十九年度まで高瀬昌之(三十)三十一年度は松野正明が担当。(松野 正明)

△七期 (深川西高27期同期会)

十六年一月二日開催し七十四名参加。令和元年六月二十九日 八十八名集合。(館下 孝之)

△八期 (第28期同期会)

代表・三ツ井隆博
三回目となる同期会を十七年八月板倉

にて開催。百名を超える参加あり。五年ごとに開催。第四回目の同期会を二十二年八月札幌にて開催。二十七年八月深川で開催。九十名出席。(増永 博志)

△九期

同期会代表世話人・新井 清一
同期会HP: http://nikko.kyminotes.jp/
同期会開催状況 二〇一八年十一月二十三日
選暦同窓会 ホテルニューオータニ)札幌次回開催予定、六十五歳になる二〇二三年(令和五年) (幹事・挽地 昌弘)

△十期

三組学年会 代表世話人・土田 光子
学年の同期会は無く三組に少数の他の組のメンバーが参加しています。(津田 恭史)

△十一期 (第31期同期会)

卒業二十年を十一年に深川で開催。卒業三十年を記念して二十一年に出席者八十名で開催。二十六年十月に開催。令和元年八月十日開催六十二名参加。(宮澤 孝司)

△十二期

二十四年一月二日、板倉にて二十八ぶりに八十五名の参加者を得て開催しました。五年経過したので開催の方向です。(三上 貴康)

△十三期 (元気でやってる会)

代表・紺野 浩治
二十三年八月十三日(第四回)板倉にて開催。二十七年八月(第五回)を板倉にて開催。次回は三十一年度に開催。(今西真理子)

△十四期

卒業二十年を十四年に深川で開催。

△十五期

卒業十五年を十年に深川で開催。(田中 一幸)

△十六期 (深川西高36回生同期会)

卒業二十年で十六年一月板倉にて開催。九十九名参加。卒業二十五年を二十一年一月に開催。

二十三年十月一日に第三回同期会を開催致しました。深川西高校(第三十六期生)掲示板を開設中です。(渡辺 哲男)

△十七期

十四年に板倉にて開催。(佐藤 秀樹)

△十八期

代表・佐々木
四年に一度の開催で平成三十一年正月に深川で開催。(西口 健一)

△十九期

十三年二月、日の出会館で開催参加、四十四名。

△二十期 (第41期同期会)

代表・佐藤 之彦
二十一年一月二日に開催。二十五年七月十三日。
三十一年一月二日に開催。五十八名
次回は四年後に開催予定。(佐藤 之彦)

△二十一期

二十三年一月開催。平成三十一年一月二日開催。四十九名参加。(吉住 仁陽)

△二十二期

二十三年四月に第一回を板倉にて開催。当初五十名以上の参加申込が東日本大震災の被災地支援の関係から消防、自衛隊など関連に勤務しているメンバーが参加できなくなり四十名余の参加となった。(佐藤 自真)

△二十三期

二十三年六月十三日、プランシユネージュに五十人が集合。(及川 賢一)

△二十四期

ご協力頂いた期の幹事の方や世話人の方には大変お世話になってます。記載の情報は前年までの情報に新たな情報を追加しただけの二十一年間の積み重ねです。目新しい情報は数箇所しか追加されていません。事務局では記載の期以外は把握できて居ません。きつと開催しているところもたくさんあるのだらうと思います。情報の収集に努めていますし、各期の協力者

を探し支援を頂きながら、それぞれの期の動向が今以上に判明するように努力してはいますがなかなか望みがかないません。情報をお寄せ頂ければより充実した会報になるのですが・・・

第21回東京支部総会

令和元年10月19日 15:30より、会員54名に本部より1名の参加を得て東海大 学校友会館に於いて同窓会東京支部の第21回総会が開催されました。

立花頭一(35)さんの司会で始まり草原克豪(12)支部長の挨拶の後、来賓紹介で同窓会本部の宮澤孝司(31)副会長より会計報告を行った。引き続き役員改選を幹事長・玄番英臣(14)さんより提案があり諮ったところ満場一致で承認されました。

その後、相談役・村中未隆(旧3)さんの発声により深川産シールドルで、声高らかに乾杯をし懇親会に入りました(16:15~17:50)。参加者へは、「J.A.きたそらち」から深川米が配られました。例年、多くの諸先輩にお越し頂いていま

それぞれの期の幹事・連絡者の方には最新の情報を総会の案内の返信欄に記載して頂ければありがたいと思います。ご協力よろしくお願ひ致します。

したが、今回は、呼びかけ召集で昭和52年から昭和62年卒業の14名の若手の方々に参加頂きました。また、初めて参加頂いた方も多く、次回が楽しみです。開宴中は「緑魂は時空を超えて」BD、「深名線71年の記録/鉄路残響」DVDをご覧頂き、故郷に思いを馳せて頂きました。久しぶりの出合いや気心の知れた者同士での歓談でしたが時間も迫り、名残りを惜しみつつ高らかに校歌斉唱を終え玄番英臣さんの閉会挨拶で終宴と成りました。次回22回は令和3年10月を予定しています。



# 我らの同期会

## 第7期生「最後の同期会」を開催

幹事代表 小川 慎一  
 第7期生「最後の同期会」が、令和元年5月12日（日）、札幌市「旅館 中村屋」に、34名の参加者を得て開催された。

第7期生同期会は、昭和55年、卒業25周年を機に開催されたのが最初であった。以後は、会場を「深川」「旭川」「札幌」の持ち回りとして5年ごとに、平成2年からは3年ごとに、平成26年からは毎年開催としてきた。平成28年、13回目の同期会が札幌市で開催され、その場で次回も札幌市開催を決めたが、幹事役予定者の病気やアクシデントで開催出来ぬまま過ぎていたが、本年、深川在住の有志の積極的な支援により実現したものである。

我々も、年齢を超え、それぞれが身体に課題を抱える身となり、鬼籍入りした同輩が83名を数える状況の中、今回を以って最後の同期会とするのことにし案内をした。

趣意が理解され、東京から鈴木木吉君と水野秀子さんが、神奈川県から後藤盟君、千葉県から真田幸三君が馳せ参じてくれ、道内各地からも多数の参加者があり、盛會裏に開催することができた。

この中で、同窓会第7期代表を岡部誠二君から手島



克君に交代することも確認された。宴でのテーブルスピーチは、高校時代の思い出を語り合った。傘寿を超えた老翁老婆は六十余年の時空を一挙に超えて紅顔可憐な少女少女に戻り、大いに懐かしみ楽しんだ。

全体が参集する同期会は今回が最後となるが、多感な青春の一時期を同じ学び舎で過ごした同期の強い絆は永遠に繋がっている。今後は、地域ごとに、或いは帰郷の折などに声を掛け合っ集うなど積極的に往時を偲ぶ機会を設けることを誓い合い散会した。

### 仲々終いに成らない七期の会

八十三歳になると「千の風」になって飛び立つ級友がチラホラする中、元気なうちに最後の同期会を・・・と話が進み、札幌と深川の幹事会が交互に開催していた同期会を合同で行うことで話がまとまり、札幌の小川慎一君と深川の手島 克君が中心になって令和元年五月十二日、札幌市で開催しました。その後と言うことで想定外に多くの参加者（34名）で盛り上がりました。別れには卒業式の時とは違って大きな希望は持てなかったが、懐かしく振り返り振り返りそれぞれの家路についていきました。

その後、半年の中で「黄泉」へと旅立つ人もありました。一方手島君が近況報告等を纏めた「おくり」と当日の集合写真を送ったものを見て、改めて幹事役の処に手紙や電話が相次ぎました。その中に特筆すべきことがあります。十二月初め、神奈川の後藤盟君（北竜町出身）から「自分は遠くに居て同期会開催の手伝いもせず、永らく地元の方々に世話話になるばかりでした」との礼状と特産の「富有柿」が沢山宅配便で手島君宅に届きました。

急遽、幹事会を開いて柿を肴にギャラリ「さんぽ道」で楽しいひと時を過ごしました。

又、そのときスライスへお嫁に行った大西圭子さん（秩父別町出身）が今年里帰りするとの報もありミニ同期会を・・・との話が出て、仲々終わりの見えない元気の七期生であります。（岡部・記）



### 第20期 「ふれ愛 語り愛 同期会コンパ」

毎年開催。2019年8月3日 居酒屋「大将」で打ち上げ。（棚橋 幹男）

### 第23期 80周年記念の日に・・・

平成30年（2018）年10月20日 80周年記念式典が終わって祝賀会に向かう前に同期11名と宮崎先生にも参加していただき80周年を記念してアオタモを植樹しました。我々同期のシンボルとして今後も見守り続けてもらい次回の90周年には「野球のバットに使えるまでに大きく育ててね」と願いを託しました。



### 第24期 同期会

平成30年10月21日（日）札幌プラザホテルにて開催しました。3年生時の担任でした戸田先生、長尾先生、澤村先生に出席を頂き68名の出席者でした。

先生とお会いするのがほとんどの生徒が卒業以来でしたが4名の先生もとてもお元気で生徒達と楽しそうにお話をしておられました。次回は70歳となりますが5年後を予定していますがミニ同期会は毎年開催していきたいと思っています。（大平由美子・記）

### 第24期 ミニ同期会

令和元年11月16日（土）札幌グランドホテルにて開催。出席者は41名でした。札幌在住者を中心に開催していますが、本州在住者も出席して頂き賑やかな会となりました。（大平由美子・記）

### 第27期 同期会

西高27期は、昭和50年3月に卒業し44年余り時間が経過し、途中2回程同期会を行いました。今回は1年前より当時生徒会長長の竹林均を代表として、実行委員26名により準備を進め、令和元年6月29日、深川市の日の出会館におきまして、恩師の戸田輝夫先生のご出席をいただき、全国各地より同期生88名の出席のものと、開催致しました。

受付時、顔が分からず名前が出ませんが、クラス単位で円卓を囲み、名前が分かれると外見は異なりますが、すぐに高校時代に帰り、大いに話に花が咲きました。時間の経過も忘れクラス並びに男女の区別なく大いに盛り上がり、同期会後半で追送歌・学生の歌・校歌を、同期全員が肩を組み大声で昔を思い出し歌いました。

その後、二次会を市内のスナック夜の城で77名、店を貸し切って大いに盛り上がり、遠方の同期もJRの時刻も忘れ、孫の話・趣味の話や話題に話が弾みました。

次回の同期会を2022年に札幌市で行うことを出席同期全員の了解をもらい、それを楽しみに元気に人生を楽しむことを約束して、散会致しました。（館下・記）



## 第31期 同期会

31期同期会  
 令和元年8  
 月10日 日の  
 出会館で開催  
 同期会は5  
 年おきに、多  
 くが令和2年  
 で還暦を迎え  
 ます。  
 出席者は先  
 生3人を含め  
 て62名の参加  
 でした。  
 関東圏から  
 は4名、地元  
 深川を含む北  
 空知からは28  
 名、他は道内  
 各地からの出  
 席です。  
 (宮澤・記)



## 第41期 同期会

2019年  
 1月2日 深川  
 市内の日の出  
 会館にて同期  
 会を開催。  
 平成最後の  
 正月に同期  
 58人、恩師4  
 人が集いまし  
 た。同時に恩  
 師、宮島武彦  
 先生の平成30  
 年秋の叙勲受  
 章を祝いまし  
 た。  
 次回は20  
 23年8月に  
 札幌で開催の  
 予定です。  
 (佐藤・之彦)



## 第44回生 同期会

深川西高等学校 第44回卒業生の集いの報告を致  
 します。  
 私たち44期は、5年に1度開催しており今回で5  
 回目の同期会となります。前回は、札幌在住が多く  
 参加しやすいのでは？と考え札幌JRTタワーホテル  
 で行っています。今回は、小林先生をお迎えし1月  
 2日18時より深川のプラザホテル板倉にて開催しま  
 した。今年は、全国各地でインフルエンザが猛威を  
 ふるい当日参加できない方も3、4名いましたが参加  
 人数49名での開催となりました。  
 初めに、前回の札幌開催の時にネームプレート作  
 成するなど我々の同期会に大変尽力してくださり  
 ました尾崎先生や今までにお亡くなりになられた先  
 生、同じ時間を共にした同級生に哀悼の意を込め黙  
 祷でご冥福をお祈りしました。

次に幹事代表挨拶を吉住が行いました。参加して  
 くださった皆様へのお礼と自分の子供たちが高校生  
 になっていて深川西高でみんなと楽しい時を過ごし  
 た時期に子供たちが差し掛かっていて時が経つのは  
 早いなーと感想を述べました。  
 小林先生は、3月で定年を迎えるにあたり今後は、  
 なかなか参加できなくなるかもしれないということ  
 で参加していただきました。私たちの入学に赴任し  
 卒業と共に転勤されたことで思い出深い学年だと  
 言っていました。

締め挨拶は、広中さんが行い幹事への労い、こ  
 のような機会があることへの感謝を述べていただき  
 ました。  
 今回は、テーブルスピーチなど一切なしで純粋に  
 会話をしようという事で始めましたが、各テー  
 ブルでなつかしい話やクラスの同級生で写真を撮る  
 など昔に戻り楽しい時間を過ごしたと思います。2

## 開けし沃野 渺々と

### 育樹の現場から

#### 八重桜「釧路八重」の事

地球温暖化のお陰かどうか校庭の蝦夷山桜が  
 咲き始めた数日後に釧路八重桜が咲き始めた。  
 5月の8日には3分咲き位になり翌日には一  
 面花で覆われるほどになった。平成を終え、新  
 たに令和を迎えてかどうかはさておいて、昨年



#### 桜の元での花見

70周年で植えた同窓会林も漸く桜の花が眺め  
 られるようになり何とか桜の花の下で花見が出  
 来ないかと考えている。問題は林道の雪が融け  
 て通行可能となるかどうかで、花は咲いている  
 が広場までたどり着けないことも考えられる。  
 今年は予行演習を兼ねて5月17日頃に役員だけ  
 でも開催したいと思う。

#### 協力者募集

緑の学び舎運  
 営委員会も発足  
 から12年を経過  
 しました。試行  
 錯誤を繰り返し  
 ながら植えた  
 木々たちも、全  
 部ではありませ  
 んがポツポツ自  
 立に向けて育っ  
 ていますから、  
 当時は若かった  
 運営スタッフも昔ほど  
 手間はかからなくなり  
 ました。それでも年々  
 仕事量を減らさざるを  
 得なくなりました。そ  
 んな訳で新しい仲間を  
 求めています。是非一  
 緒に汗を流しましよ  
 う。学校が事務局に連  
 絡を入れていただけれ  
 ばものすごく喜んじや  
 います。



第二十二回

同窓の夕べ



乾杯は7期手島 克さん



梶川 寛実行委員長挨拶



進行 黒田隆之さん(41期)



受付風景



22期廣上和好次期実行委員長へタスキ引継ぎ



じゃんけん大会



校歌斉唱



進行 伊藤美恵子さん(42期)



受付風景

第二十三回

同窓の夕べ



乾杯は岡田 明さん



山本英人校長挨拶



榎田 光章同窓会副会長挨拶



廣上和好実行委員長挨拶



23期廣上光義次期実行委員長へタスキ引継ぎ



大抽選会



地名ビンゴ

2年間勤務された阿部 穰校長が3月をもって札幌国際情報高校へ異動となりました。開校80周年を輝かしく挙行し終え、又、生徒の資質向上にも力を注がれた大きな成果を残して榮転されました。本当に2年間ご苦労様でした。後任に訓子府高校から山本英人校長が赴任してきました。これからよろしくお願いいたします。着任のご挨拶を頂く所ですが、学校長には毎回コーラス大会のプログラムの挨拶を掲載させて頂いています。今号もご紹介を兼ねて掲載いたします。

## 第63回コーラス大会

「豊かな気風」

校長 山本 英人

今年も深川西高校の伝統ある行事「コーラス大会」がいよいよ始まりました。コーラス大会に向けて、責任ある立場で準備を進めてきてくれた生徒会役員の皆さんの努力に、心から敬意を表します。

さて、昭和31年に始まったこのコーラス大会も今年で63回目を迎えます。この間の卒業生は1万4千名余りですから、長い年月をかけて、こんなにも大勢の深西生が参加してきたことを考えると、たいへんな歴史と伝統です。

来年は東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されます。観戦チケットの販売予約が始まり、それに合わせよう様々な競技種目で日本人の活躍が報道されてきました。スポーツは洗練とした元気を与えてくれます。しかし、大抵はそれだけでは何か物足りなさを感じます。日常の生活に潤いや深み、豊かさを求めたくなるものです。コンサートやアートギャラリーに出かけるのは、そうした心の動きがあるからです。どこかの学校に行っても、

廊下には絵画や書が飾られており、落ち着きと憩いの雰囲気を与えてくれます。

ここ数日、校長室にも皆さんの歌声が聞こえています。澄んだ気持ちでその歌声を聞きながら、昔、同僚からこの大会が素晴らしいと聞いて強い興味を抱いていたことを思い出しました。

生徒の皆さんには、これまでの練習の成果を十分発揮し、いっそう本校に潤いのある豊かな気風を届けましょう。そして、深西生でなければ味わえないこの雰囲気を楽しみながら、豊かな心を創りあげる機会とすることを期待します。

2019 / 5 / 17

## 70回に秘められた思い

生徒会長 瀧田 弥慶

慣れ親しんだ校舎を離れ人生の悪戯によつて結ばれた友情も時と共に災い旧懐と化してゆく頃、イルムを見ながら、ふと思いつくのは、一に、母校の学祭であると言われます。学校祭の意識・目的が何であれ、そこには、短い学校生活の集大成を期して或るものに向かう若者の姿があります。

また、今年も深西の70回目の学校祭に当たっています。この70年の歩みは決して平坦なものではありませんでした。しかし、その中から伝統が生まれたのです。僕達はこの70年の歩みを在校生の立場で振り返り、新しい伝統を築く土台にしなければなりません。単なるお祭さわりですましてはいけません。

最近いろいろなトラブルが起つていますが、それを解決するのは僕達の団結だと思えます。自分達の力、可能性を信じ精一杯努力する事が大切だと思います。

今年も、「百花斉放くぼくらの青春、楽しみな祭」をスローガンにして一人

一人の個がこの学校祭で現れ、生徒それぞれ先生方、地域の皆様と共に楽しめる学校祭を実現させようと思えます。

で、是非最後まで楽しんでみてください。

2019 / 7 / 6



## 緑の学びや運営委員会 記録ムービー作成

### 緑の系譜・2019 「緑魂は時空を超えて」

一年間19回もの取材を経たので相当量の取材データがありますが編集して一枚の盤に納めました。同封した文面から転載

### 願いを託して

発端は宮脇 敬氏（4期生）の「この校庭は素晴らしい。手入れをされた緑の環境。いつまでも残したいですね」との投げかけに「この環境や同窓会林を違う角度からも記録に残したい」とお答えし実現しました。何気ない一言から80周年の節目に開校当時から培われてきた緑の環境を記録に残すことが出来ました。

一年を費やして深川西高校の校庭と同窓会林の春夏秋冬を追いかけました。「湧雲の白樺」「修練道場跡地の碑」「70周年記念植樹の碑」「釧路八重桜」「校庭の桜」をメインに据えながらの美しい折々の季節の映像が18分弱続きます。

校舎建設に尽力を頂いた宇佐美常次郎氏から始まった緑の系譜は、緑豊かな学習環境構築に尽力した古野俊清初代校長、学校林を同窓会の管理とした伊藤 充・四代同窓会長、学校林管理に尽力した塩崎欣作氏、開校70周年の挨拶で同窓会林の桜の咲く中で同窓会の総会をやりたいたと夢を語り、緑豊かな校庭をこよなく愛した津田恭衛・八代同窓会長、「湧雲」の名付け親の小川東州氏、緑の学び舎の維持管理にと特別委員会を立ち上げた岡部誠二氏、これまでの活動や教育環境維持に対して暖かく力強い力を注いで頂いた宮脇 敬氏へと志は受け継がれてきました。勿論、取り巻く多くの人の協力があるからこそ現在あることは間違いありません。多くの先人が種をまいて頂いたおかげで、豊かな緑の環境が身近にあることに感謝しきりです。

90周年、更には100周年には現状からどのように変わったのかを確認して戴ければ幸いです。宮脇氏のご配慮により在校生の方にも記録の種を蒔くことができました。是非時いた種をご覧頂いて気に留めて、心にとめて頂ければと言うのが私たちの願いです。

多くの種からたくさんの樹や花が育ちます様に！

深川西高校 特別委員会「緑の学び舎運営委員会」

【緑の学び舎を紡ぐ人たち一同】

## 高体連・高文連成績

### 平成31年・令和元年度 全国大会・全道大会結果一覧

#### 写真部

<b>全国大会</b>	7/27～30	佐賀県	
船水ひな「heart」			文化連盟賞
<b>春季大会</b>	室蘭市		
船水ひな「姉弟」			
三国櫻子「へへっ」			
巖島空乃「ハンブンコ」			

#### バトミントン部

<b>国体予選</b>	5/10～12	伊達市	
男子W	門脇・塚田		1回戦敗退
女子W	舟津・太田 漆畑・高木 藤村・廣中 片山・中塩		2回戦敗退 2回戦敗退 1回戦敗退 3位
女子S	太田 廣中 舟津 漆畑 片山 中塩		ベスト16 1回戦敗退 1回戦敗退 ベスト16 1回戦敗退 2回戦敗退
<b>高体連</b>	6/11～14	函館市	
女子団体			北海道準優勝
男子W	門脇・塚田		2回戦敗退
女子W	片山・中塩		北海道ブロック優勝 (全国へ)

## 深川西高等学校「緑の学舎運営委員会」

### 【30年度・事業報告】

- ◎ 30.04.16 ノビュロと記録DVD作成現地説明  
(以後取材合計19回)
- ◎ 30.05.08 釧路八重開花
- ◎ 30.05.26 深川中学校よりオンコ移植3本  
(宮本運輸に依頼)
- ◎ 30.06.10 第二回運営委員会を山で開催。現状確認しながら一部作業を行う。
- ◎ 30.08.18 ミズナラマーク
- ◎ 30.08.18 草刈作業(森林組合委託)
- ◎ 30.10.04 ホオノキ苗木調達
- ◎ 30.10.06 第9回卒業記念植樹  
坪田、堀川、岡部、篠原、寺前、石川、村中、藤井、溝口
- ◎ 30.10.21 校庭の冬囲い・殺鼠剤
- ◎ 30.10.30 殺鼠剤再点検
- ◎ 30.12.14 宮脇氏来訪
- ◎ 30.12.26 防雪看板設置
- ◎ 31.03.01 八重桜を成長点培養するため試料採取
- ◎ 31.03.26 平成31年度 第一回運営委員会
- ◎ 31.03.31 DVD編集完了 プレス工程に入る(780枚)
- ◎ 31.04.18 画質重視からブルーレイに変更
- ◎ 31.04.21 校庭の冬囲いはずし
- ◎ R1.05.08 釧路八重桜見ごろ
- ◎ R1.05.18 春作業
- ◎ R1.05.30 植生調査
- ◎ R1.06.14 ブルーレイ完成 到着
- ◎ R1.06.21 宮脇氏に引渡し
- ◎ R1.08.14 草刈作業(森林組合委託)
- ◎ R1.10.12 イタヤカエデの苗調達
- ◎ R1.10.12 第10回卒業記念植樹  
堀川、篠原、石川、村中、溝口  
協力:東 典子
- ◎ R1.11.11 殺鼠剤の確認と散布

	舟津・太田		ベスト8
	藤村・廣中		ベスト8
男子S	塚田		2回戦敗退
女子S	片山 中塩 漆畑		ベスト8 3位 棄権

<b>高体連全国大会</b>	7/31～8/5	熊本市	
女子W	片山・中塩		ベスト32
<b>北海道選手権大会</b>	8/15～18	小樽市	
男子W	塚田・門脇		ベスト16
女子W	高橋・太田 水野・高木		ベスト8 2回戦敗退
一般女子W	片山・中塩		1回戦敗退
女子S	高橋 太田		2回戦敗退 1回戦敗退
一般女子S	片山 中塩		3回戦敗退 3回戦敗退

#### 放送局

<b>高文連</b>	9/18～21	帯広市	
ラジオドキュメント部門			30位
創作ラジオドラマ部門			38位
テレビドキュメント部門			33位
創作テレビドラマ部門			26位
研究発表部門			22位

#### 陸上部

<b>高体連</b>	6/17～21	帯広市	
男子	走幅跳 奥谷 三段跳 奥谷 砲丸投 富岡 円盤投 富岡 ハンマー投 富岡 5000m 伊藤 やり投 高松 走幅跳 河原 走高跳 福井 円盤投 福井 円盤投 福岡 200m 菅谷 走幅跳 菅谷 3000m 前田 4×400mR 菅谷・福井・福岡・柴田		予選敗退 決勝進出 予選敗退 第8位入賞 予選敗退 予選敗退 予選敗退 決勝進出 予選敗退 予選敗退 予選敗退 予選敗退 予選敗退 予選敗退

<b>国体予選</b>	7/20～21	室蘭市	
男子	円盤投 富岡		第7位入賞
男子	走幅跳 河原		第6位入賞
女子	円盤投 福岡		決勝進出
女子	やり投 福岡		決勝進出

<b>北海道選手権</b>	8/10～11	網走市	
男子	円盤投 富岡		決勝進出
男子	三段跳 奥谷		決勝進出
男子	走幅跳 河原		決勝進出
女子	円盤投 福岡		決勝進出
女子	やり投 福岡		決勝進出
女子	走幅跳 菅谷		棄権

<b>新人戦</b>	9/18～20	函館市	
男子	100m 河原		予選敗退
男子	800m 下津		予選敗退
男子	1500m 下津		予選敗退
男子	走幅跳 河原		第2位入賞
男子	やり投 高松		予選敗退
女子	100mH 柴田		予選敗退
女子	円盤投 福岡		第5位入賞
女子	やり投 福岡		予選敗退

<b>陸上部駅伝</b> (芦別・岩東・岩緑合同)	10/18	北見市	
男子	3区 伊藤/6区 下津		第12位

#### テニス部

<b>高体連</b>	6/11～14	苫小牧市	
男子W	原田・夏井坂 滝川・戸田		1回戦敗退 1回戦敗退
女子S	長原		1回戦敗退

#### 剣道

<b>高体連</b>	6/11～13	帯広市	
	野原		2回戦敗退



四千五百本植えた事を記憶している。その内枯れてしまったのも随分多かったが。

玄関の車廻しの事を一言したいと思う。これは父兄会長の野原さん(植木屋さん)と副会長の村田さん(市会議員の福士さんが殊の外努力してくれた。この中心にあるオンコの古木は山見さんから、千島産の工ゾ松は堀江さん、紅葉は野原さんから寄贈されたものである。この古木は同氏が仲町の屋敷に植えて大切にしていたもので、これは強引にとってきた様な形となった。エゾ松は同氏が庭木用としてわざわざ購入してあったものを戴いたわけである。この外、つつじなどの小物をあしらった。

これで四季折々の眺めができる小庭が出来上がったわけである。すなわち春の花(つつじ)夏の緑、秋の紅葉、冬に松の緑などがそれぞれである。これは私の自慢の一つであった。以来、三十年も経過したのでこの形も変わってしまった事と想像している。ここで書き記して置きたい事は鐘の事である。これは校舎北側の軒先に吊るして時鐘として使ったものだが、すべては電化の時代で授業の開始は電鈴かブザーなどに代えられてしまったのではないかと思う。この鐘は、その昔、納内村に屯田があったところに、その本部に吊して兵の集合合図に使っていたものがその元をなしているのである。その後この鐘は、屯田の記念物として納内小学校の郷土室に陳列してあったものを本校の創立記念として貰い受けた旨を申し入れたが、先方はこれには困ったらしかったが、小川校長さんが村当局と折衝して割愛して呉れた

のである。この鐘は割れていて使用できなかったもので金物屋の手を経て鍍直したものである。形は原型通りとなったが大きさは約二倍位のものとなったと記憶している。これを時鐘として、その昔を偲びながら大切に使用していたが、その澄み切った、しかも温い音色は遠くの停車場まで聞えて、これによって学校が動いている状況を見て微笑した限りであった。この鐘だけは創立の記念品として、そして屯田兵制度の記念として永久に保存したいものである。

創立当時を回想して見るとその思い出はいっつも果てることも知れないが、要するに宇佐見家の人々や深川町民の方々、そして深川町外四箇町村の人々や在校生の父兄による善意によって創立の基礎が造られ、好意によって造成された事を思い、ほかの学校では見られぬ温かさが学校の一木一草にも漲っているのである。生徒たちもこの精神をよく体得して、校庭の造成に努力して呉れた事を深く感謝する。勉強もよくして呉れた。お陰で第一回卒業生は多数、上級学校に入学した。

制限字数一杯になったので皆様の御厚意に感謝しながら、御幸福を祈つて擲筆する。

(30周年記念誌より)

※ 以上、掲載しましたが文中に「栞葉」を挿し木したとあるがこれは失敗だったようで後に「ドロヤナギ」を挿し木してグラウンドに緑を添えたようである。

※ 屯田兵の記念物としての時鐘を譲り受けて使用していたと記載されているが、その後納内に返還し、現在は「納内開拓記念公園」に置かれている。

### 第四回 同窓会親睦ゴルフ大会

2018年9月15日開催の同窓会親睦ゴルフ大会は「1」期の梶川 寛・実行委員長の手配で45名の参加を得て楽しく開催することが出来ました。夕べの会場で表彰式が行われ大西会長より優勝・小林正樹さん(36期) 準優勝・岩田 忠さん(16期) 一位・濱田靖夫さん(17期)に賞品が授与されました。

### 第五回

### 同窓会親睦ゴルフ大会

2019年9月21日開催の同窓会親睦ゴルフ大会は「2」期の廣上和好・実行委員長の手配で前回と同じ45名の参加を得て開催いたしました。夕べの会場で表彰式が行われ濱田副会長より優勝・小林正樹さん(36期) 準優勝・藤岡和正さん(18期) 一位・神薙 武さん(17期)に賞品が授与されました。

2020年の大会は9月12日の予定です。23期が担当します。

又、例年通り当日同じ会場で野球部OB会が開催されています。OB会会長は桜井英夫さん(18期)です。



## どろやなぎ

(編集後記)

▼例年八月末に発行する会報ですが編集者の事情で遅れましたことお詫びいたします。箇所によっては二年分を掲載した部分もあります。年度末に間に合わせて発行できたことに安堵しています。会報は毎年卒業生にお渡ししていますので今回の様なサイクルで発行してもいいのかなと思っております。

▼開校八十周年も近くなりました。今号にて会計報告もさせていただきます。ご協力をいただいた皆様や関係された皆様に改めて御礼申し上げます。九十年への道のりは決して平坦なものではないと思っております。人口減少に見舞われ地域が衰退していく状況を老境の彼方から見ることになりそうですが、今しばらく皆さんに情報をお届けしたいと思っております。ご協力をお願いいたします。

▼今号は開校当時の想いを綴った初代・古野校長の一文を掲載しました。古い世代の同窓生は何度か目している文面かも知れませんが、若い世代の方にも当時はどうだったのかを知ってもらいたいとの意味で紹介しました。時代の進展と共に何事も変わっていくのは当然ですが、スタートラインを今一度確かめたかったです。

▼少子化で日本が消えていくかも知れないの未来を語らずに付度や損得に明け暮れ、疑惑を煙に巻いて桜に浮かれて厚顔無恥の一面を見せる面々が、遂には「反社の定義はない」と言い出す始末。「なんでもあり」の見本が日本社会を闊歩しています。こんな方々が教育を語っているんですぞ！ 怒。怒。怒。

▼地球誕生以来植物が繁茂しなければ今の環境はありません。植物はCO2と水から排気ガスとして酸素を排出します。この酸素を利用した動物が地球上に誕生しました。動き回れない植物と動き回れる動物の関係が豊かな地球を生み出したが文明の発展に比例して多くの希少な植物や動物も姿を消していききました。どんなに科学が進んでも人知では回復しきれないくらい迄に今の地球の病みは進みつつあります。

植物を消すことは動物をも消していくこととなります。つまり未来の私たち……です。

▼歳を重ねて経験を重ねると今まで以上に出来ることも沢山ありますが、それも老境を迎え始めるに限りがあり、しばらく考えなりました。晩年余裕が出来たらやろうと思っていたのも若かった時のこと……。気力や記憶、体力が薄れていくのは致し方ないことで、これはこれで順調な証かも。

情報発信委員会 溝口信義・記(18期)

【お知らせとお願ひ】  
※資料収集のお願い。毎度のことですが古い資料を探しています。終活の断捨離で経験していることですが生きていくうちに捨てられない資料も残された家族にとってはゴミです。こうして貴重な資料も散逸して確保が困難になります。ご提供いただけるものがあれば是非お願ひしたいのです。お借りできるものはコピーをしてお返しいたします。

※創立五周年・十周年記念誌・復刻版  
昭和33年9月6日に発行された本校の記念誌「創立20周年記念誌」です。  
(B5判102ページ)  
頒布価格・郵送料込み 一、九〇〇円  
※校歌・学生歌・道徳歌のCD  
CDは卒業生へ記念品として贈呈しています。

※第60回 全校コーラス大会の記念DVD  
記念DVDは全校生徒に記念品として贈呈しています。  
※緑の学び舎運営委員会・五周年記録史「緑魂は時空を超えて」  
残部五十部ほどありますのでご協力がいただければ幸いです。  
(A5判 154P ほとんどカラー)

いづれも同窓生の皆さんの中で入手希望の方が居られましたら郵便振込にてお申込みください。  
口座番号は027701245435  
加入者名：北海道深川西高等学校同窓会

※緑の系譜2019「緑魂は時空を超えて」記念ブルーレイ  
在庫が少々ありますので希望の方はご連絡ください